

今日のトピック 中国の鉱工業生産は2カ月連続プラス（2020年5月） 景気は生産主導で4-6月期以降持ち直しへ

ポイント1 鉱工業生産はプラス維持 小売売上高も持ち直し

- 中国国家统计局は15日、5月の主要経済指標を発表しました。5月の鉱工業生産は前年同月比4.4%増と2カ月連続でプラスとなり、4月の3.9%増から伸び率が拡大しました。品目別の生産量をみると、自動車が19.0%増、在宅勤務で需要が増えたコンピューターが22.3%増と高い伸びとなりました。新型コロナウイルスの打撃から生産はいち早く回復しています。
- 5月の小売売上高は前年同月比2.8%減と、4月の7.5%減から減少率が縮小しました。業種別にみると、新車販売が好調だった自動車関連が3.5%増と前年を上回りました。しかし、飲食業は18.9%減と、4月の31.1%減からは改善したものの、新型コロナの影響が続き、回復が遅れています。

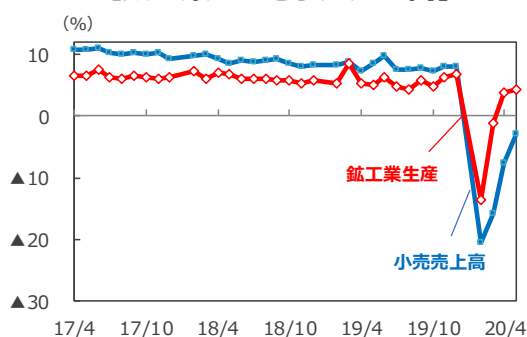
ポイント2 固定資産投資も改善 不動産開発投資は前年並みに

- 1~5月の固定資産投資は前年同期比6.3%減と、1~4月の10.3%減から減少率が縮小しました。内訳をみると、堅調なマンション販売などから、不動産開発投資が前年同期比0.3%減と、ほぼ前年並みまで回復しました。

今後の展開 生産主導で景気は4-6月期以降持ち直しへ

- 中国経済は新型コロナの影響で1-3月期に深刻な打撃を受けたものの、いち早く感染拡大の封じ込めに成功し、生産主導で徐々に回復しつつあります。ただ、国家统计局は、世界経済が厳しさを増しており、経済運営が多くリスクと困難に直面していると述べ、消費者の感染に対する警戒心などから、消費の見通しについてやや慎重な見方を示しています。こうした中、弊社は、生産に比べて出遅れている投資と消費が7-9月期に、コロナショック以前の水準（昨年12月時点）を回復すると予想しています。

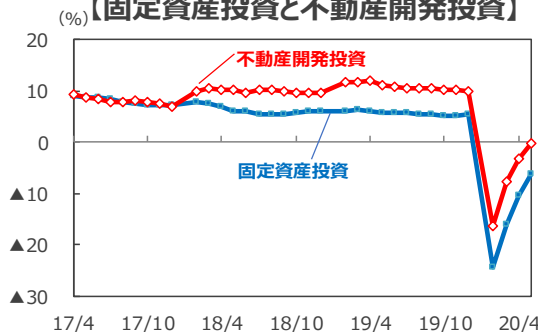
【鉱工業生産と小売売上高】



(注) データは2017年4月～2020年5月、前年同月比。
各年2月のデータは1～2月の年初来累計の前年同期比。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【固定資産投資と不動産開発投資】



(注) データは2017年4月～2020年5月。
年初来累計の前年同期比。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2020年5月25日 ウィズコロナ時代の『全人代』

2020年5月18日 中国の鉱工業生産はプラス転換（2020年4月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。